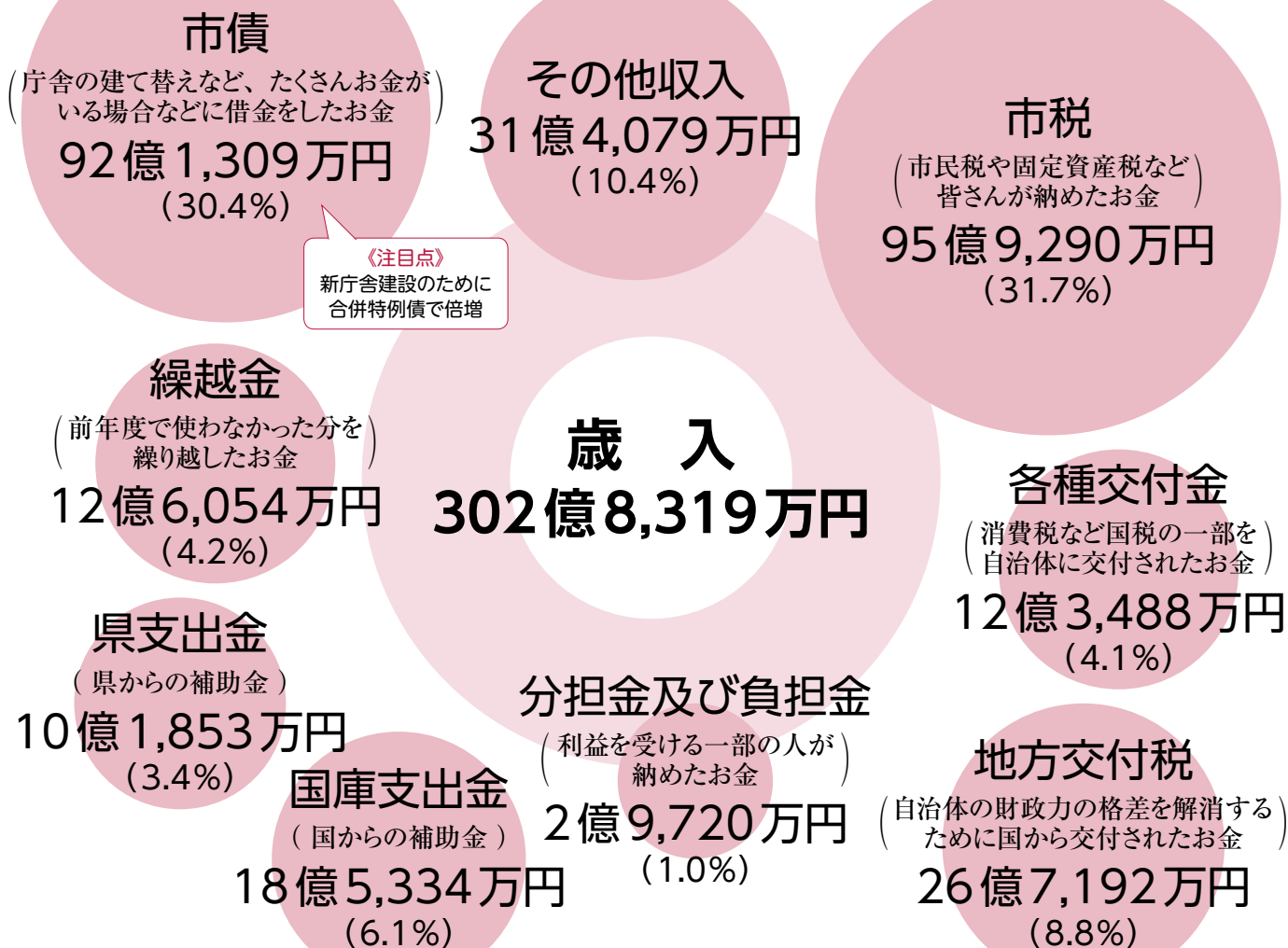


よむ



高借金 低預金だが

9月定例会が、8月30日から9月20日の22日間の会期で開催されました。
賛成多数で可決しました。認定された



一般会計及び特別会計の決算状況

区 分	歳入決算額 A	歳出決算額 B	歳入歳出 差 引 額 C = (A - B)	翌 年 度 繰越財源 D	実質収支 E = (C - D)
一 般 会 計	302億8,319万円	285億3,955万円	17億4,364万円	1億825万円	16億3,539万円
特 別 会 計					
国民健康保険	46億5,037万円	44億2,094万円	2億2,943万円		2億2,943万円
後期高齢者医療	9億8,173万円	9億7,062万円	1,111万円		1,111万円
介護保険	42億1,790万円	38億5,996万円	3億5,794万円		3億5,794万円
農業集落排水事業	2億6,721万円	2億3,139万円	3,582万円		3,582万円
下水道事業	17億6,338万円	15億6,329万円	2億9万円	1,495万円	1億8,514万円
小 計	118億8,059万円	110億4,619万円	8億3,439万円	1,495万円	8億1,944万円
合 計	421億6,377万円	395億8,574万円	25億7,803万円	1億2,320万円	24億5,483万円

注) 1万円未満四捨五入のため合計は一致しません。

24億円の黒字財政

平成31年度（令和元年度）補正予算および平成30年度決算認定等議案50件を平成30年度決算の状況をお知らせします。

平成30年度決算

定例会のようす

視察研修

市民の声

クイズの解答

議会費

（議員報酬、政務活動費、議会事務費などに使ったお金）

2億1,167万円

（0.7%）

総務費

（庁舎建設、福祉バス運行、CTY放送などに使ったお金）

99億9,944万円

（35.0%）

公債費

（市の借金を返済したお金）

21億6,295万円

（7.6%）

その他支出

16億8,061万円

（5.9%）

《注目点》

新庁舎建設で倍増

教育費

（学校教育、社会教育や学校の建て替えなどに使ったお金）

19億8,572万円

（7.0%）

歳出

285億3,955万円

民生費

（高齢者、児童などの福祉や保育園運営に使ったお金）

72億8,356万円

（25.5%）

消防費

（桑名消防署への運営委託や市の消防団活動などに使ったお金）

11億3,579万円

（4.0%）

土木費

（道路、橋の建設や維持管理などに使ったお金）

20億6,378万円

（7.2%）

農林水産業費

（農業を活性化するために使ったお金）

6億8,631万円

（2.4%）

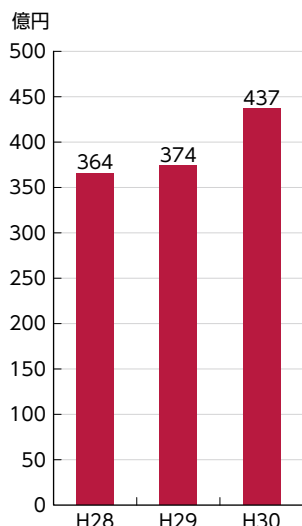
衛生費

（ごみ処理や予防接種・健診などに使ったお金）

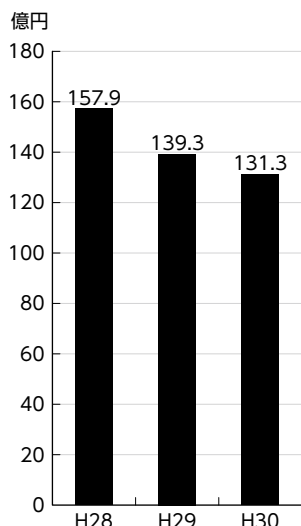
13億2,972万円

（4.7%）

借金（地方債）の推移



預金（基金）の推移



監査結果

一般会計・特別会計の決算審査意見書（抜粋）

平成30年度も財政の安定化を図りながら新庁舎や保育園の建設、防災拠点施設や幹線道路の整備などを実施。

前年度に比べて歳出決算額の増加要因は、庁舎建設事業、台風による災害復旧事業。

財源の確保においては、合併特例債を有効活用したインフラ整備の補助事業を実施するなど、計画的、効果的な取り組みがなされた。

\ 2年目 /



議会が監視・評価

施策評価・事務事業評価

市議会では、議会基本条例で市長等が行う事業が適正かつ公平性および効率性をもって行われているか監視し、評価することを議会活動の原則として定め議会活動を展開しています。本年度は2年目となります。

「防災対策の推進」「公共交通の充実」 おおむね適正である

予算決算常任委員会では、平成30年度決算審査において、市が実施した40施策340事業の中から「安全で安心な危機管理対策の推進」「公共交通の充実」の2施策を選定し、評価・検証を行いました。評価結果は、議会の意見として決議し、次年度以降の予算編成にあたって提言をしました。

市議会が市へ提出した 評価と提言

平成30年度決算審査における
施策評価及び事務事業評価に関する決議（抜粋）

【総務経済分科会が所管する事項】

〈評価〉 **おおむね適正である**

〈施策〉 **安全で安心な危機管理対策の推進**
〈事務事業（17事業）〉

- | | |
|----------------|------------|
| ○国民保護事業 | ○防災会議事業 |
| ○災害対策本部事業 | ○防災無線事業 |
| ○災害対策用備蓄資材購入事業 | |
| ○広域防災事業 | ○防災施設管理事業 |
| ○常備消防事業 | ○常備消防整備事業 |
| ○消防団事業 | ○消防団研修訓練事業 |
| ○消防団施設整備事業 | ○消防水利整備事業 |
| ○市単独河川維持改良事業 | |
| ○自主防災活動事業 | ○防災施設整備事業 |
| ○河川道路橋梁災害復旧事業 | |

〈提言〉

◆総括

本施策は、防災対策をはじめ災害対応、危機管理対策など、いなべ市民の生命と財産を守るための17事務事業で構成されている。

全国的に見ても、近年の気象変動に伴う自然災害の発生状況が増加の一途をたどっており、数十年に一度と言われる大規模な自然災害が頻発している状況にある。いなべ市においても令和元年9月4日夜から翌5日未明にかけての集中豪雨では市内各所において災害が発生した。このように、「いつ、何が起きてもおかしくない」状況に対し、市はできる限りの備えと対策が求められている。今だからこそ、有事に備え「自助・共助・公助」の役割と連携を明確にし、日ごろから地域コミュニティを醸成する施策とすべきである。

【都市教育民生分科会が所管する事項】

〈評価〉 **おおむね適正である**

〈施策〉 **公共交通の充実**
〈事務事業（5事業）〉

- 三岐鉄道支援事業
- 駐輪場・駐車場管理事業
- 新交通システム建設促進事業
- 福祉バス運行事業
- 終着駅サミット in 阿下喜開催事業

〈提言〉

◆総括

少子化、人口減少が進む中、公共交通として採算を取るの難しい事業ではあるが、市民の移動手段を確保することが必要であり、現在の事業は市民にとって生活交通手段として定着している。

鉄道においては、沿線市町と連携を図り引き続き事業を継続されたい。利用者を増加させるための手段として駐輪場・駐車場を拡充し、パーク＆ライドを推進されたい。

福祉バスにおいては、安全性を最優先し、利便性の向上を図るため、有効な手段を模索しつつ事業を継続されたい。

公共交通の充実を図ることは、誰もが暮らしやすく、定住・移住の促進に繋がる重要な施策である。

議案内容を詳細にチェック!!

委員会での主な質疑

提案された議案は、詳細にチェックするために総務経済常任委員会、都市教育民生常任委員会、予算決算常任委員会に担当所管に沿って付託されます。委員会では、行政からの詳細な説明と委員からの質疑（質問）が行われます。

議案第8号

会計年度任用職員の処遇を規定（総務経済常任委員会）

市職員の定数削減が進められる一方で多様化する行政需要に対応するため、臨時・非常勤職員が増加してきた。その中で、公務員の任用制度の趣旨に沿わない運用が見られることから、特別職、臨時的任用の厳格化と一般職の非常勤職員を新たに「会計年度任用職員」とする地方公務員法の改正が行われた。

また、地方の非常勤職員は国とは異なり、期末手当が支給できなかったため、会計年度任用職員に期末手当の支給が可能となるよう規定を整備するもの。

Q

約300人のうちフルタイム会計年度任用職員は、若干名。フルタイム会計年度任用職員に期末手当支給の規定はあるが、パートタイム会計年度任用職員には期末手当支給の規定がない。今後出そう検討をするのか。

A

今現在は、検討していない。

本会議で採決の結果、賛成13、反対3で可決。

議案第13号

保育園・幼稚園等の無償化（都市教育民生常任委員会）

保育園、幼稚園、認定こども園等を利用する3～5歳児クラスの子どもの利用料が無償化される。0～2歳児クラスの子どもは、住民税非課税世帯に限って利用料が無償化。幼稚園は、月額2万5,700円まで無償化。

主食費・副食費（給食費）、通園送迎費、行事費等は無償化の対象外で保護者負担。

Q

給食費はいくらになるのか。

A

5,000円を予定している。

給食費は小学校が4,000円、中学校が4,300円だが、なぜそれより高いのか。

園児の方が人数が少ないため。

本会議で採決の結果、賛成14、反対2で可決。

一般会計補正予算

（予算決算常任委員会 総務経済分科会）

Q

防災施設整備事業

庁舎西の防災倉庫が完成していないが、パレットやフォークリフトを購入してどこで保管するのか。

A

今回補正予算で購入する備品は、員弁町に建築する倉庫に保管する。

Q

消防水利整備事業

消火栓、防火水槽の設置や廃棄の基準は自治会要望に基づくのか。

A

消火栓は業者に委託して点検を行う中で、異常のあるものは改修等をしている。新設は自治会要望を基にして設置している。

Q

地域おこし協力隊

新たにグリーンツーリズムに1人入れるが、地域おこし協力隊の隊員は自治体で何人申請できるのか。

A

上限は決まっていない。全国に5,000人弱いるが、国は2～3年で8,000人に伸ばそうと打ち出している。

定例会のようす

平成30年度決算

定例会のようす

視察研修

市民の声

クイズの解答

一般会計補正予算 (予算決算常任委員会 都市教育民生分科会)

Q 大安老人福祉センター等改修事業
改修してグループホームにするが、新築する
よう他の建設予定地は考えなかったのか。

運営はどこがするのか。

A 数カ所候補地を検討した結果、大安老人福祉セ
ンターを改修することになった。

完成してから委託先を検討する。

Q 学校給食
パンの回数を減らし、ご飯を増やす理由は。

A 文部科学省から米飯給食を週4回程度まで増や
すよう指導が出ているためと、パンからご飯に
変えることで主食の食材費を抑え副食費等に回
せる。

決算認定 とは

決算は、歳入歳出予算に基づく収入と支出の結果を集計した計算書です。予算を執行した結
果どのような成果を挙げたかを示す成果報告書でもあります。

議会は、この歳入歳出決算を審査して認定に関する議決を行います。税金の使われた結果を
予算に照らして検討することで、以後の行財政運営の改善に役立てる重要な意義があります。

一般会計決算認定 (予算決算常任委員会 総務経済分科会)

Q 自治会加入
平成29年度の自治会加入率は66.9%、平成
30年度は65.8%と1%落ちている。要因は。

単身世帯の自治会加入の促進は。

A いなべ市は大手企業の関係で単身世帯が多い。
単身世帯は自治会に加入しない人がほとんどの
ため、単身世帯が増えると自治会加入率は下
がる。

転入時、各庁舎総合窓口で自治会加入のチラシ
を配布。自治会に加入したい人には、自治会長
の名前、電話番号を知らせ、自治会加入の条件
を聞いて加入してもらう方法をとっている。

Q グリーン・ツーリズム
小さなごちそう体験の参加者は市外の人が多
いのか。

A 催しによって様々。総合すると市外が6割ほど、
市内が4割ほど。

一般会計決算認定 (予算決算常任委員会 都市教育民生分科会)

Q 企業誘致時の約束
誘致企業にかんがい用水の不足に対する経費
を市も2分の1負担している。企業に有利に
なるような約束を誘致の時にしているのか。

A 旧北勢町時代、誘致するときに約束をした。現
在、誘致するときには優遇するような約束はし
ていない。

国民健康保険特別会計決算認定 (予算決算常任委員会 都市教育民生分科会)

Q 国民健康保険の加入者数が年度ごとに減る傾
向。要因は。

A 社会保険への加入促進と75歳以上の人が後期
高齢者医療制度へ移行するため。

総括質疑は「議会だより第60号」7ページの用語解説を見てね

総括質疑 ピックアップ

大安老人福祉センター等改修事業

Q 期間および限度額を変更する理由は。

A この工事は、大安老人福祉センターを改修して障害者のグループホーム20部屋を作るもの。大安庁舎、大安老人福祉センター、大安公民館、大安スポーツ公園体育館、大安スポーツ公園野球場の5つの施設は、大安老人福祉センターの電気設備を通して電気が供給されている。大安老人福祉センターを切り離すと、ほかの4施設それぞれに電気設備工事が必要となる。

Q 変更後の事業スケジュールは。

A 令和元年12月初旬に実施設計が完成する予定。内容等を精査した上で、年明けに一般競争入札を実施し、正式契約後、4月以降に工事着工。令和2年度は4施設の電気設備工事や水道等の接続工事を優先し、平行して福祉センター内の解体工事を実施。令和3年度にかけて完成させたい。

保育園・幼稚園等の無償化

Q 給食費に関して国の基準に対し、市独自の上乗せはあるのか。

A 上乗せは、計画していない。

Q 県内市町の状況は。

A 北勢4市（鈴鹿、亀山、四日市、桑名）と、三重郡、桑員の5町（菰野、朝日、川越、木曽岬、東員）については、いずれも国準拠で予定していると聞いている。

Q 新たに発生する給食費の徴収事務（請求書の発行や受領、免除者の把握など）は各保育施設が行うのか。

A 各保育施設で行う。副食費の徴収免除は、市が対象者を把握し、各保育園に通知することと定められている。

Q 徴収事務に対する支援はあるのか。

A 新たな支援制度はない。

討VS論

本会議において反対・賛成両方の討論があった議案は次のとおりです。

平成30年度いなべ市一般会計歳入歳出決算認定

可決

反対討論 西井真理子 にぎわいの森事業には反対 予算時にも修正案を出した

我々政和会は、そもそもにぎわいの森には反対であった。平成30年度一般会計予算の採決時、コンサルタント業務委託費に対して反対し、減額の修正

案を出した経緯がある。よって、平成30年度決算は認定できない。

賛成討論 篠原史紀 執務上の大懸案を解消し、新庁舎建設をやり切った

いなべ市は15年前に県下で一番最初に合併。有利な合併特例債満額を計画的かつ有効に活用し、老朽化した学校や保育園等、次世代のためのインフラを整備して、全国に冠たるいなべブランドを創造し続けた。仕上げとして、新庁舎建設の最終計画と予

算計上に至り、4庁舎分庁という大懸案事項を、職員一同が全力を尽くしクリアした。厳しい時代に難しい課題は多々あるが、さらなる市長と職員の活躍、新庁舎での活性化を期待し賛成とする。

反対討論 衣笠民子 にぎわいを移住・定住に結びつける次の一手を

決算状況は、100億円を超える新庁舎を建設しても健全。にぎわいの森のにぎわいを若い世帯の移住・定住に結びつけるよう子育て支援の充実を提案し、住み続けられるよう福祉バスの充実なども提案してきた。財政的にはできるものにもかかわらず、

後ろ向き。市長に代わる施策を問うても答えもない。

国の政策は、福祉の削減と消費税増税でさらに格差を広げる。今こそ、地方自治体の本来の役割「住民の福祉増進」に取り組むべき。

定例会のようす

平成30年度決算

定例会のようす

視察研修

市民の声

クイズの解答

議案の審議結果表

賛成と反対が分かれた案件

～下記以外の44案件は全会一致または賛成多数で可決しました～

林正男議長 は採決に加わらない。 ○は賛成 ×は反対 (付託委員会/ 総: 総務経済常任委員会 都: 都市教育民生常任委員会 予: 予算決算常任委員会)

会 派			政和会				いなべ未来				創風会				かがやき		日本共産 党いなべ 市議団	無会派	
議 案 名	付託委員会	審議結果	西井眞理子	新山 英洋	川瀬 利夫	水谷 治喜	小川 幹則	鈴木 順子	岡 英昭	林 正男	篠原 史紀	片山 秀樹	伊藤 智子	清水 隆弘	神谷 篤	位田まさ子	岡 恒和	衣笠 民子	種村 正巳
いなべ市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	総	可決	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	×	○	×	×	○
いなべ市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	都	可決	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	×	×	○
平成31年度（令和元年度）いなべ市一般会計補正予算（第3号）	予	可決	×	×	×	×	○	○	○	－	○	○	○	○	×	○	○	○	○
平成30年度いなべ市一般会計歳入歳出決算認定について	予	可決	×	×	×	×	○	○	○	－	○	○	○	○	×	○	×	×	○
平成30年度いなべ市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	予	可決	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	×	×	○
いなべ市監査委員の選任につき同意を求めることについて	―	可決	×	×	×	×	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○	×	×	○

審査の結果、国へ意見書を提出

員弁郡・いなべ市PTA連合会会長 中川 章 様 他 2 人から下記の 4 件の請願書が提出され、審査の結果以下の意見書を国に提出することになりました。

義務教育費国庫負担制度の充実を求める意見書

未来を担う子どもたちの「豊かな学び」を保障することは、社会の基盤づくりにとって極めて重要。義務教育については、国が責任を果たすとの理念にたち、教育に地域間格差が生じないよう、必要な財源を確保する義務教育費国庫負担制度の存続はもとより制度のさらなる充実が求められる。

教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める意見書

日本の教育機関に対する公財政支出は、対GDP比4.1%で、OECD加盟国平均(5.0%)に及んでいない。教育基本法により定められている「第3期教育振興基本計画(2018)」のなかで政府は、「OECD諸国など諸外国における公財政支出など教育投資の状況を参考とし、必要な予算を財源措置し、真に必要な教育投資を確保していくことが必要」としている。

公財政として措置される教育予算を拡充し、教育条件整備をすすめていくことが、山積する教育課題の解決へとつながり、子どもたち一人ひとりの「豊かな学び」を保障することにつながる。

子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求める意見書

厚労省の「国民生活基礎調査」(2016公表)によると、「子どもの貧困率」は13.9%、およそ子ども7人に1人の割合で貧困状態にあるとされる。大人が1人の世帯の相対貧困率は50.8%と、大人が2人以上いる世帯(10.7%)より著しく厳しい経済状況。貧困の連鎖を断ち切り、経済格差を教育格差に結び付けられないために、就学・修学支援に関わる制度・施策のより一層の充実が求められる。

防災対策の充実を求める意見書

東海地方が大きく被災した場合、三重県内の避難者数は、地震発生翌日で約35～56万人にのぼり、1カ月後においても約10～20万人が避難所生活をつづけることになる」と推計。東日本大震災、西日本豪雨等これまでの災害で、多くの学校が避難所となったように、県内でも9割以上の公立学校が避難所指定を受けており、地域の避難所となることが予想される。

耐震・耐火性などの安全対策、避難者の生活を支えるトイレや発電設備、飲料水の確保等が求められ続けているが、防災関係施設・設備の設置率は、都道府県によってばらつきがあり、三重県においては、十分であるとは言えない。過去の災害に学び、最善の備えを整えていくという考えのもと、防災に関わる施策がさらに充実されることを強く望む。

一般質問



10 議員が登壇!!

質問通告項目は以下のとおりです。

一般質問は市政全般に対して質問を行います。一般質問の内容についての記事は各議員の責任において掲載しています。なお、要約して掲載しています。

市民の

声を届ける

岡 英昭 10

1. 東海環状自動車道の市内IC等周辺の整備計画について
2. いなべ市関係の選挙について
3. いなべ市の平和推進について

小川 幹則 11

1. 空き家対策について
2. 図書事業について
3. 総合窓口事業について

西井真理子 12

1. ダイバーシティの実現にむけて

篠原 史紀 13

1. 市民の命を守る防災施策を質す
2. 新庁舎を有する阿下喜地区の交通安全強化策を質す
3. 市民の声を市政に活かすための広聴事業を質す

片山 秀樹 14

1. 認知症への対応について問う
2. 公共の福祉と個人の財産（土地）について問う

伊藤 智子 15

1. グリーンツーリズムについて
2. 三重とこわか国体・三重とこわか大会について

位田まさ子 16

1. にぎわいの森について
2. 地域医療について
3. いなべの子供を守る

神谷 篤 17

1. 6月議会における市長の答弁について
2. いなべ市内でついに発生した豚コレラ感染について
3. 先日発表された『学力テスト』について

岡 恒和 18

1. 小中学校教育の現状と課題について
2. にぎわいの森について

衣笠 民子 19

1. 多様性を認め合う社会へ
2. 子育て施策の充実で移住・定住の促進を

大安IC周辺の新たな整備計画は

答／市民温水プールの建設を行う



いなべ未来
おか 岡 ひで 英 あき 昭

紆余曲折あったが
新たに市民温水
プール建設との
画期的施策表明だ

市関係の選挙の状況は

Q 無投票になった場合と選挙実施の場合との選挙費用の差は。

A 市長選挙についての投票の場合1,754万9,000円。無投票の場合約900万円。市議会議員選挙投票の場合325万9,000円。無投票の場合約248万円。

Q 開票作業は日曜日の夜間となるが、職員に支給される手当等の額は。

A 時間外勤務手当を支給する。時間帯により100分の135～160の支給率。



開票作業が行われるシビックコア

いなべ市の平和推進を問う

Q どのような団体にいくらずつ協賛金を支出しているか。

A 原水爆禁止世界大会桑名員弁実行委員会に15,000円。三重県原爆被災者の会に20,000円を支出。

Q 市長が出席する戦没者追悼式数と市の補助は。

A 各地域6カ所と市主催1回、仮称平和記念公園（麻生田野）で春・夏遺族会主催で行われる追悼式の合計9回。遺族会を通じて献花料を補助。

Q 東海環状自動車道の大安IC（インターチェンジ）の1日当たりの利用状況は。

A 乗降車数、約3,000台。

Q 仮称北勢IC（インターチェンジ）が、新庁舎の近くに建設される。いなべ市を全国に知らしめるためにも名称を「いなべIC（インターチェンジ）」とすべきでは。

A 地元（北勢町）との調整を経て、NEXCO中日本に要望活動を行う。

空き家対策 民泊推進は

答／文書や直接面談などに取り組む



いなべ未来

小 川 幹 則

市民が安心して
暮らせる環境づ
くりと安全確保
の取り組みを

Q 空き家は安全面や衛生面で懸念があるが、今後の対策は。

A 所有者に対して文書通達や直接面談し適切な対応を行っていく。

自治会等と連携を密にして維持管理、除却、立木竹の伐採など必要な措置を講じるよう指導を行う。

Q 民泊推進事業について地域おこし協力隊員との連携は。

A 隊員の活動状況は、藤原町の空き店舗を活用して民泊施設を開業。市は、登山者に民泊案内をしているが、今後隊員とも連携を図っていく。

図書事業の取り組みは

Q 図書通帳の取り組みを全校へ展開しては。

A 図書通帳がきっかけとなり、読書量が増加。読書推進を学校の主たる方針にして計画的な取り組みと同時に、図書通帳を導入することが成果につながると考える。今後は、読書推進に関わる各学校の取り組み計画を把握し、予算状況を考慮し検討する。学校の主体的で創造的な取り組みを求めていく。

Q 絵本手帳に対する認識と活用は。

A これまでに十分な認識はなかった。

読み聞かせをして親子で一緒に楽しめる手帳であり大変有意義であることを実感した。今後、関係部局と連携して検討していく。



員弁西小学校に導入されている図書通帳

総合窓口での外国人対応は

Q 外国語での対応状況と翻訳機の導入計画は。

A 外国人の手続きには通訳者が同行している。翻訳機にはポルトガル語とベトナム語が特に必要。試験的に導入している翻訳機の機種や機能などを確認しながら導入を検討したい。

Q 今後の総合窓口に対する市長の所見は。

A 本庁舎および各庁舎総合窓口課ともに今までどおり窓口サービスを行う。

※小中学校でのLGBT教育が必要では

答／必要はないと考える



政和会
にし い ま り こ
西 井 真 理 子

多
様
性
の
教
育、
小
中
学
校
で
も
し
っ
か
り
と
す
べ
き

Q 人権都市いなべ市の構築は、具体的にどんな取り組みをしているか。

A すべての事業において人権を意識して取り組んでいる。

Q 中学生に人権学習が浸透してないように感じるがどう思うか。

A まず体験教育を進めている。

Q LGBTの理解促進に関する取り組みは。

A 全市職員を対象に平成29年度、30年度の2年間研修をした。

Q 地域おこし協力隊任せでなく、市としてLGBTについて取り組んでいくべきでは。

A 市がやっていく必要はある。地域おこし協力隊員と話し合って進める。

Q 小、中学校において無記名でLGBTのアンケート調査はしたことがあるか。

A ない。

Q 心配をかけるから、家族にも言えない子どもがいる。教職員はLGBT研修をしているか。

A 取り組んでいる。

Q 命を落としてしまうLGBTの子どももいる。今のままの教育なのか、今後しっかりと力を入れていくのか、教育長の考えは。

A 小中学校で、文部科学省「性同一障害についての教育相談をしてきたか」の調査において該当者はなかった。文部科学省の学習指導要領にもLGBTは出てこないし、私は小中学生の段階では必要がないと思う。

Q 悩んでいる子は放置しておくのか。

A 学校、家庭で察知できる環境にすべき。

Q この活動を支援するのは、小さい子どもを持つお母さん。自分の子がLGBT当事者かもしれない。市は考えを改めるべきでは。

A 人権一般の啓発はする。アンケートなどLGBTに特化した取り組みはしない。孤立化を防ぐ考えはある。



ダイバーシティ推進方針

阿下喜交通安全の確保強化を

答／県に道路整備等を強く要望する



創風会

しの
篠

はら
原

ふみ
史

のり
紀

一番大切なのは市民の命。交通安全や防災対策を喫緊に強化すべき

Q 新庁舎開庁から4カ月が経過。阿下喜地区の交通安全対策を強化すべきと考えるが、阿下喜交差点から県道25号線における交通安全確保に関しての課題と対策は。

A 交通量が増加しており安全対策を進めるため、県道管理の県に通行者に配慮した整備を強く要望している。

Q 子どもや高齢者の安全確保のため本町通りや保育園沿道のカラー舗装をする考えは。

A 小中学校の通学路への対策は喫緊の課題。関係機関と協議し、指摘された箇所を優先に対策を講じる。

Q ほくせい保育園のフェンスが低く脆弱。危険性はないか。

A フェンスについては検討していないが、交差点については県に強く要望し約400mの舗装改良工事、ラインの引き直しを行ってもらう。



ほくせい保育園東交差点の道路改良工事が完了

大規模地震や豪雨を想定し防災対策を

Q 平成30年の台風の被害を受け、新たに実施した点検や対策は。

A 停電復旧に時間を要したため電力会社には対策強化を要望。改善策として、問い合わせセンターのオペレーターの増員や全国の電力会社への応援要請を強化した。

Q 坂本・大貝戸地区での避難意識の促進については。

A インフラ整備進む中で住民の避難行動の重要性が薄れている。現地対策本部では土砂災害カメラ映像がモニターでき、危険と判断した場合は迅速に行動を起こすことの大切さを啓発する。

Q FM局との定期協議の中、特に強化したことは。

A いなべFMが加盟しているコミュニティー放送団体加盟局と、大規模災害が発生した場合スタッフや機材を派遣する相互応援協定を締結。

認知症患者の事故等損害賠償を

答／市が保険料を負担する



創風会
かた 片 やま 山 ひで 秀 き 樹

市民と行政が協力し
きれいな町、健全な
町にしていきたい

Q 3月定例会で「認知症患者の起こした電車事故や器物破損の損害賠償は監督責任のある家族が負担するリスクが常にある」と質問した。「いなべ市が保険料を負担する」と回答があったが、その後の進捗は。

A 認知症の人の器物破損や電車事故による損害賠償保険料をいなべ市が負担する。その条件としては、認知症と診断され、いなべ市に登録する必要がある。

Q 認知症の相談はどこに行けばよいか。

A 福祉部、社会福祉協議会、地域包括支援センターのどこでも適切に対応。病院、施設、警察と情報を共有し連携して親身になって対応する。



画期的で安心な認知症補償制度

公共の福祉と私有地の関係は

Q 私有地に廃棄物を溜めたり、事業者敷地から公道にはみ出すなど危険な状態の場合の市の対応は。

A 何度も事業者を訪れ指導・勧告している。県・警察とも協力して指導していく。

Q 地籍調査の現状と今後は。

A 土地家屋調査士会に委託して順調に進めている。豊富な資料と経験により境界の調整に長けているため、当事者間の納得を得ながら進めている。さらに良い方法で早期に進めていく。

グリーン・ツーリズム推進は

答／地域の熱意と努力で活性化



創風会

伊藤智子

通い合う心は
安らぎ・幸せへの
道しるべ

Q グリーン・ツーリズムモデル地区の「小さなごちそう体験」の詳細は。

A 平成30年度、川原地区はウインナーとシュウマイ、立田地区はそばと蕎麦寿司、鼎地区はよもぎ団子と干し柿作りなど、14回実施、155人参加。

Q チラシ、冊子、宣伝に多額の予算を使っているが、地域には年間20万円の補助金のみである。地域は、市に対して何を求めていると思うか。

A 市は一緒になって取り組む予定。グリーン・ツーリズムに関わる各地域の皆さんの一生懸命前向きな努力のおかげで、地域資源の掘り起こし、人の交流、来訪者の増加など地域が活性していると感じている。



※グリーン・ツーリズム：農山漁村において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動。農山村の住民が都市住民に農作業体験、加工体験を提供したり、住民が農産物の直売所を運営すること。いなべグリーン・ツーリズムは、これに加え地域住民が主体となり地域資源を活用した体験・交流活動に取り組み、地域活性化・愛着や生きがいを醸成し地域住民の定住・Uターンも含む移住を図り、過疎化や高齢化が減速する事を目指している。

三重とこわか国体・三重とこわか大会 (いなべ市はハンドボール少年男子・自転車ロードレースを開催)

Q 国体に向けた市の準備は。

A 国体推進室をつくり、競技会場の設計設営の準備、競技運営方針等の作成、競技会運営業務のマニュアル作成などを進めている。

Q 「国体を契機に、おもてなしの心を育みボランティア精神の気運を高めることは、芸術文化の振興に寄与する」とのことであったが、具体的な取り組みは。

A 市民参加のボランティア活動として、花いっぱい運動、歓迎のぼり旗の作成、クリーンアップ運動、飲食物の提供、競技会運営業務（受付、会場清掃など）を予定。

Q 幅広い世代の参加を促すため「とこわかダンス」「未来に響け」の楽譜・CD・DVDなどを保育園、小中学校、いなべ総合学園高校に配布する予定は。

A 検討する。すでに三里小学校でダンスキャラバンの指導を受け、石榑小学校は運動会で発表。

にぎわいの森の課題と問題点は

答／休業週2日はオーナーが決めた



かがやき

位 田 ま さ 子

虐待などで不幸な
事態が起こらない
よう子どもを守る

Q にぎわいの森への来訪者からの意見、要望は。

A アクセス標示不足には案内板設置。トイレ、自販機はシビックコア内で対応。歩道（玉砂利）は車イス、ベビーカーの対応をする。休憩所はシビックコアでキッズルーム設置。

A 連日盛況でオーナーの体力の限界のため休業週2日にした。経営方法は各店舗が決める。

Q 今後の運営形態は。

A 市から独立した商社のようなもので、市内農産物を都市圏に拡販し独自のキャンペーンなど、地域活性化を含んだ活動をしてもらう。

具体的にはまだ決まってない。

地域医療いなべ総合病院の現状は

Q 医師の確保と救急医療の受入れは。

A 内科医3人、泌尿器科1人増えた。救急体制は変わらないが、医師が増えたことにより受入れ制限が緩和され不安解消になった。他に漢方専門医や「ダ・ヴィンチ」での内視鏡検査、名古屋市立大学脳神経科教授の診察、物忘れ外来もある。

Q 菰野厚生病院との福祉バスの連結は。

A 今後、両市町での話し合いが持たれる。工夫をし実現に向けて取り組む。

※ダ・ヴィンチ：腹腔鏡及び内視鏡を用いた手術の支援ロボット

いなべの子どもを守れ

Q いなべ市家庭児童相談室での相談件数、改善、努力は。

A 児童虐待相談件数1,284件。これは昨年より少ないが、軽微な相談を除いた重症件数。虐待してしまうのはおもに、実父、母、義父、義母の順。原因は、家庭の経済状態が不安定、親の精神的不安定。これはDVにもつながる。

Q 解決に向けては。

A ケースワーカー1人増で相談体制が充実した。警察、児童相談所、地域ネットワークと連携し全力で取り組む。



にぎわいの森

市長答弁聞き捨てならぬ文言が

答／想定が違っていてお詫びする



かがやき

かみ
神や
谷あつし
篤

お互い尊重し合う
人権感覚は心から
でないといついつい
剥がれてしまう

Q 6月定例会一般質問での市長答弁で、市に訪れる外国人の国籍によって差別する発言、いなべ市民には抵抗感があると決めつけている発言に対し市長は反省することはないか。

A ビジネスとして、一般的な観光客戦略を述べたものである。

Q どこの国の人であってもサポートすべきでは。

A 質問の意味を取り違えていたので、誤解があれば、お詫びする。当然サポートしていく。



外国人に日本語を教える皆さん

発生した豚コレラ対策は

Q 飼養豚が感染した状況は。

A 豚コレラの感染が確定し、防疫措置の指示があり、市として対策本部を設置した。鳥や昆虫を介しての感染の可能性がある。

Q 発生時の市の対応は。

A 家畜伝染病発生時に従事する職員73人を選任。的確な対応ができるように、研修会を行っている。今回は、車両の消毒、防疫資材の管理、交通規制などに24時間体制で従事した。

Q 感染を防ぐ対策の課題は。

A 感染拡大を防ぐために、国に対し飼養豚へのワクチン接種の意見書が出され、効果がある対策を早急に進めいく必要がある。風評被害が拡大しないように確かな情報発信に努めたい。

実施された学力テストを子どもたちのために

Q 学力テストの結果の状況は。

A 全体的に県、国を上回っている。表現力、読解力が着いた結果として、問題に立ち向かう力が着き、解答率が伸びた。文章力を伸ばしたい。

Q 学力テスト実施に関わっての問題は。

A 中3は英語のヒアリング、小6は様式が変わり比較検討が困難に。

Q 本来着きたい学力は。

A 豊かな心、確かな学力、健やかな体で、特に豊かな表現力を。

Q 豊かな学力をつけるために、何をなすべきか。

A 小中一貫の9年間で生き抜く力、生き合う、生き拓く力を伸ばしていきたい。

学校給食費を公会計化の考えは

答／取り組みに着手している



● 日本共産党いなべ市議団

おか
岡

つね
恒

かず
和

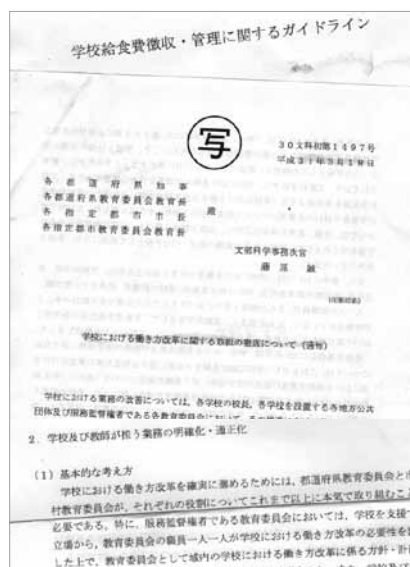
教師の厳しい勤務
改善は、教育委員
会の「本気」の取
組みが必要

Q 「ガイドライン」では、公会計化することで1校あたり年間190時間の教員業務削減効果があるとし、着手してから2年程度の準備期間を標準としている。教育長が「早くやる」と発言することで学校現場の励みになると思うがどうか。

A 未納対応の家庭訪問などをなくすためにも、進めていこうと思うが時間はかかる。

Q 教師の厳しい勤務実態を受け、平成31年3月に「学校における働き方改革に関する取組の徹底について」が出された。そこでは、「教育委員会は自己申告でなくICTの活用などで勤務時間を客観的に把握するシステムを直ちに構築すること」とされている。取り組み状況は。

A パソコンで処理できるように、今取り組みを進めている。



「ガイドライン」「働き方」文科省通知

Q 文部科学省は、学校給食費の公会計化を進めるために令和元年7月にガイドラインを出した。公会計化は、教職員の徴収業務等の負担軽減、保護者の口座振替手数料が不要となる、食材費高騰等の影響を受けなくなるなどの効果がある。いつまでに実現するという期限を示すべきでは。

A どういうスケジュールになるか計画に至っていない。

にぎわいの森の目的・効果の達成を

Q いなべ市ホームページでは、「単なる誘客のための商業施設ではなく、農業振興や生業・就農促進、商業・観光振興、市民協働の促進など、まちづくり、ひとづくりの拠点」として位置づけられている。その観点から、観光協会や商工会、自治会代表などの運営への参加が必要ではないか。

A 様々な関係団体とは協力連携していきたい。

外国人対応、国際交流担当部署は

答／指定されている部署はない



日本共産党いなべ市議団

きぬ がさ たみ こ
衣 笠 民 子

外国人対応、国際
交流について
市として方向性を
考える部署は必要

Q 外国人住民の対応、国際交流について考えは。

A 外国人住民の対応は、関係する部署がその都度適切に対応。国際交流は、いなべ市国際交流協会をサポート。

Q 国際交流事業オーストラリア・タスマニア中学生ホームステイ研修の渡航費は、市費で1人9万円の補助があるが、本人負担は16万円。負担できない家庭の子は参加できない。貴重な経験はどの子にも門戸が開かれるべき。市が中学生を派遣する形に変えて、渡航費は全額市費で負担しては。

A いなべ市国際交流協会への補助金420万円ほどを維持する考え。協議していきたい。

Q 同姓パートナーシップ証明書発行などの実施で、いなべ市が多様性を認め合う、理解しているに見える形になる。また実際の困りごとにも対応できるが実施は。

A 答弁を控える。



オーストラリア・タスマニア中学生ホームステイ研修にて

子育て施策の充実で移住・定住の促進を

Q 給食費の無料化は、これまでの議論で多くの子どもや子育て世帯に恩恵があること、財源は商工費を増やすと考えればできる金額であることが明らかになった。実施の考えは。

A 予定はない。

Q 子どもの医療費無料化の所得制限は、どの額だったら引き上げの検討をするのか。

A 現在の児童手当の所得制限が妥当。

Q 子どもの医療費窓口無料の年齢引き上げは。

A 考えていない。

Q 市長は若い世帯の移住や定住の促進は必要と考えるか。

A 答弁を控える。

Q 市長の考える若い世帯の移住や定住の促進策は。

A 答弁を控える。

県境を越えて、常備消防が応援協定 市民要望を基に協力隊員を募集

総務経済常任委員会は7月9日に富山県南砺市で「消防相互応援協定」、10日に新潟県十日町市で「地域おこし協力隊の定住に向けた取り組み」の先進地視察を行いました。

富山県南砺市では「消防相互応援協定について」の視察研修を行った。

南砺市の西部に石川県金沢市、白山市、南部には岐阜県飛騨市、高山市、白山村と県境で隣接しており、いなべ市同様県境を有するまちである。

南砺市は、県境を越え金沢市と「石川県金沢市・富山県南砺市消防相互応援協定」を締結して、発災時または事故発生時に常備消防、消防団の初動を迅速に行えるように備えている。

また県境は1,000m～1,800m級の山岳で隣接しているため、山岳での遭難事故、山林火災など県境において発生した場合、発生箇所の特定、情報の共有など迅速な対応ができ一刻をあらそう人命救助につながることは有意義な「消防相互応援協定」であると感じた。

日本の県境または行政区は大部分を山岳で占めており、消防に限らず隣接する自治体とは、行政区域を越えての情報の交換などが必要である。



委員長	小川 幹則			
副委員長	岡 恒和			
委員	篠原 史紀	神谷 篤	水谷 治喜	
	岡 英昭	位田まさ子	種村 正巳	
	故 近藤 英昭			



新潟県十日町市では、新潟県十日町市の地域おこし協力隊の定住に向けた取り組みについては、いなべ市のまちづくりとは立地の背景が全く違うことを感じた。いなべ市で活動する地域おこし協力隊は、いなべ市でチャレンジしたいことを好きにやる「テーマ型」を採用している。十日町市は、かなり以前から過疎化傾向から、行政サービスの限界を見定め、自助・共助による住民主体の協働によるまちづくりを推進しているため、「高齢化の著しい地域において地域外の人材を活用し、地域の活性化に必要な施策を推進するとともに、当該地域への定住・定着を促進する」を目的に「地域密着型」を導入している。

国内有数の豪雪地帯であることもあり、特に冬場は高齢者のみでは暮らしが維持できないという必然性から、暮らしを維持するための機能（除雪、高齢者の送迎支援、買物代行など）として、地域おこし協力隊が多く活躍している。十日町市の目的どおり地域に密着した活動となっているため、退任後も起業やNPO法人、十日町市の企業への就業など多くが十日町市に定住している。

文化芸術振興条例でまちの活性化を 多様な個人が尊重されるまちを

都市教育民生常任委員会は7月4日に埼玉県富士見市で「文化と芸術に関する取り組みについて」と「文化芸術振興条例について」、5日に東京都渋谷区で「人権問題に対する取り組みについて」の先進地視察を行いました。

埼玉県富士見市では「文化と芸術に関する取り組みについて」と「文化芸術振興条例について」の視察研修を行った。富士見市は緑地や湧水、肥沃な田園地帯など自然豊かな環境も多く残されているが、首都圏のベッドタウンとして発展する人口約11万人の市である。

「富士見市文化芸術振興条例」を平成24年に制定し、基本理念として市民及び団体が行う文化芸術活動の権利、環境の整備、人材の育成、伝統文化の継承、役割、責務などについて規定し市民参加の推進機関の設置などを定めている。条例・計画に基づいた事業として、音楽鑑賞事業、「子ども文化芸術大学☆ふじみ」、小学校合唱部指導者派遣事業など、市民文化祭実行委員会や舞台芸術鑑賞実行委員会を作り市民主体でさまざまな事業を行っている。文化・芸術は数値目標化しづらく目に見えない部分が多くあるが、文化はまちの歴史であり大切な取り組みである。

いなべ市においても新庁舎が完成し、一体感が醸成されるなか、文化芸術を振興してのまちづくりについて学べたことは大変有意義であった。



委員長 新山 英洋
副委員長 伊藤 智子
委員 西井真理子 川瀬 利夫 片山 秀樹
衣笠 民子 清水 隆弘 鈴木 順子



SHIBUYA

The Rainbow Friendly City.

LGBTフレンドリーの「見える化」 渋谷区のロゴ

東京都渋谷区では、LGBT^{*}を中心に「人権問題に対する取り組みについて」を学んで来た。性別等にとらわれず、多様な個人が尊重され、一人ひとりがその個性と能力を十分に発揮し、社会的責任を分かち合い、ともにあらゆる分野に参画できる社会の実現を目指した新たな「渋谷区男女平等及び多様性を尊重する社会を推進する条例」が平成30年4月1日から施行された。実際に悩んでいる人に寄添い生活しやすい環境を整備していく上で、対応に繊細さが求められている。

現在、6色のレインボーでLGBTフレンドリーを「見える化」し促進のため、銀行、企業のロゴをレインボーデザインにしたり、レインボーステッカーなど理解促進をしていることを示すグッズも多く配布されている。

※LGBT：性的少数者を表す総称

L [レズビアン] 女性として女性がすきな人

G [ゲイ] 男性として男性がすきなひと

B [バイセクシャル] 好きになる人が同姓の場合も異性の場合もある人

T [トランスジェンダー] 心の性と体の性の違和を感じる人

6年前から事業評価を実施

議会改革20年 開かれた議会

議会運営委員会は7月16日から17日の2日間で、「議会による事業評価」の先進地である茨城県守谷市と「議会改革」の先進地である東京都町田市へ視察研修を行いました。

茨城県守谷市では「議会による事業評価」の視察研修を行いました。守谷市では、議長発案により、決算審査の結果や指摘事項について翌年度の予算編成に反映させるため、平成25年から市長が執行した事業に対し事業評価を取り入れている。

いなべ市議会においては昨年度から、施策評価・事務事業評価を取り入れたが、まだ日が浅く、評価にあたり課題が多く残されており調査研究していく上で、守谷市の「議会による事業評価」は当市議会が行っていく施策評価・事務事業評価の参考となった。

東京都町田市の議会改革は、平成10年から個人情報保護に配慮し、傍聴人受付簿を廃止することに始まり、現在までの20年間でさまざまな方向から議会改革を推進している。議員定数の削減、インターネットによる議会中継やホームページ上に「議案のカルテ」を掲載し、市民に分かりやすい議会となっている。

新庁舎完成に伴い電子採決や委員会のインターネット中継、議場へのパソコンの持ち込みなど多くの改革を行った。また市民団体との懇談会や高校生と議員の意見交換会や、「市議会をひらきます」ポスターを民間バスで無料掲出してもらい議会傍聴の呼び掛けや、委員会の場で請願者本人が意見陳述を行うことできるなど、市議会を身近に感じられるようにしている。

議会改革の他にも、町田市では分かりやすい予算書の作成や地方公会計も早くから取り入れており、市政に市民が参画しやすい環境を整えている。



委員長 水谷 治喜
副委員長 小川 幹則
委員 伊藤 智子 川瀬 利夫 岡 英昭
位田まさ子

視察を終えて

今回、視察した茨城県守谷市議会および東京都町田市議会は、全国的にも先進地であるが、一朝一夕にでき上がったものではなく、他の先進地視察を重ねこれまで試行錯誤を繰り返して、実績を重ねながら今日の制度を作り上げてきたことがうかがえた。

茨城県守谷市、東京都町田市へ視察を行い、今後いなべ市の施策評価または議会改革に関して議会が関与していくことは、市政に大きく影響することをあらためて考える機会となった。

いなべ市議会では、いなべ市議会基本条例に基づき、執行機関の監視と評価を行うべく、より一層、議会活動を充実させさまざまな取り組みにチャレンジしたいところである。

やります！

第3回 議会報告会

意見を言いたい人集まれ!!
参加者大募集

平成30年度決算

定例会のようす

視察研修

市民の声

クイズの解答

23

報告メインの報告会をやめ
今年は、市民の意見を
議員が直接お聴きします！

聴く



★少人数グループに分かれて、議員も加わり
テーマについて意見交換を行います。

テーマは2つ

①防災対策について

②男（ひと）と女（ひと）が互いに認め合う社会

令和元年11月16日（土）14：00～

いなべ市役所 シビックコア棟 2階 研修室

※多くの市民の皆様のご意見を市政に届けます！

問い合わせ先

いなべ市議会事務局

〒511-0498 いなべ市北勢町阿下喜31番地

TEL：86-7848 FAX：86-7872



クイズの応募ハガキに書き添えられた、
議会・議会だよりなどに対するご意見やご感想を紹介します。

- 子どもたちにも市政の様子が少しずつでも理解できる
ページを作っていて欲しいです。 68歳 女性
- にぎわいの森ですが、通路がじゃり道で、ベビーカー、
車イス、杖をついた人などの通行が困難です。なんと
かならないものか？ 31歳 男性
- 毎日、サルやイノシシで悩んでいます。鳥獣対策を市
もよろしくお願いします。 65歳 男性
- 市道の凸凹が多いので修繕してほしい。 79歳 男性

- にぎわいの森で希望あふれるまちと、豚コレラで残念
な悲しいこともあります。未来のいなべ市に向かって
市民のために活動がんばってくださいね。

73歳 女性

- 他町（市外）の人より、「いなべ市は、今、注目だね」
とか「キラキラ輝いているね」とか「にぎわいの森ま
た連れてって」とか皆さんとても関心あるのです。私
たち市民も、とても嬉しい気持ちでいます。皆さまに
愛される市、そして市民でありたいと願っています。
一人一人の努力ですネ。

77歳 女性

- 政務活動費収支報告の件は会派により支出内訳の調査
研究費、研修費、広報費等ばらつきがありますが税金
でまかなわれているので税金の無駄遣いをせず有効
に使ってください。（他県ではニュースになるような
お金の使い方をしていることもあったようです）

73歳 女性

- 毎回の議会だよりは、内容がQ & A方式で記載されており、内容が理解しやすく、今後も続けていただきたい。72歳 男性
- にぎわいの森、まだ行っていないので一度行きたいと思っています。73歳 女性
- 学童の登下校に学援隊で守っていくことは地域の宝につながります。79歳 女性
- 新しい議員さん今年もがんばってください。年金生活にも笑顔を与えてください。悲しいです。72歳 女性
- 私は議会だより読むのが楽しみです。私たち市民のためにいろいろ発言してください。74歳 女性
- 新庁舎が完成し働く環境が整えられました。ますます発展し若者の住みやすい、いなべ市になったらと切に願います。74歳 女性
- 政務調査費（活動費）月3万と聞いています？新聞チラシにはつかわないでください。52歳 女性
- 主人がトヨタ車体に勤務しているので、いなべ市のごみウォーキングや標語コンテスト等、菰野に住みながら参加しており、いなべ市は身近な町です。今年はふるさと納税のおかげで、にぎわいの森プレオープンに行くことができました。すてきな庁舎にオシャレなショップのコラボ！！ 人気スポットですネ。仕事でいなべ市の支所に行く事もあり、Linkの広報紙を入手してます。議会だより、私の住む菰野町より、議題が多く充実している感じがします。活気がありますネ。50歳 女性
- 大変読みやすく良くまとめられて議員さんの活動もよくわかりました。最後まで熟読できました。79歳 女性
- 議会だよりは、今、市にとって何が問題になっているか少しでも知ることができてありがたいです。67歳 女性
- 議員の皆さんの意見を読ませていただきました。市民のために頑張っていてくださるのがよくわかります。にぎわいの森もできて、楽しませてもらっています。78歳 女性
- 紙面の活字の大きさ、読みやすさに満足して目を通させていただいております。市之原からの福祉バスに乗っていなべ庁舎ににぎわいの森にて往復は考えてしまいます。83歳 女性
- 「議会だより」は私たち一般市民が一番知りたいことの詰まった内容の紙面だと思います。毎回ありがとうございます。73歳 男性
- 支援学級に通う、小、中、高校生がいますが将来、就職をする時にいなべ市として、支援する会社や事業や市役所への勤務はあるのか？ぜひ教えてほしい。10歳 男性
- 定例会のようす 一般質問は良く市民にわかり非常に良いと思う。今後も長く続けてほしい。男性

- 新庁舎と同時に、にぎわいの森のオープン後は、とても評判がよく将来が楽しみです。79歳 男性
- 気がかりだった「豚コレラ」がとうとう発生。国、県、自衛隊の支援が大きく報道されている中、市の対策、業者の苦悩も計り知れないでしょう。郷土の数少ないブランドを守り、育成してってください。74歳 女性
- 今回初めて応募しました！ クイズを解くために、議会だよりを何度も読み返しました。良い企画だと思います。60歳 女性
- 交通安全環境の対策にも述べられていますがセンターライン、停止線（特に信号機の所の）が、いなべ市道ほとんどが消えています。運転していて、いつも気がついていますが修理の方よろしく願います。83歳 女性
- 「にぎわいの森」行ってきました。たくさん税金を使ってできたと思います。最初だけの「にぎわい」にならず、地域活性のためにまた、いなべ市のためにがんばってほしいです。65歳 女性
- 議会だよりを毎回読ませていただき、各議員さんの市民に対する理解は年々高度化して各分野の一般質問でも的確に要点を絞り明確な受け答えをしており、市民も幅広い知識を会得できます。そこで、議会の動きを川柳にしました。川柳：「議会でも 世代交代 新企画」（議会も世代交代が始まり年代にふさわしい企画・計画が高齢者には新鮮に見えます）77歳 男性
- 議会いつでも会議は見学できますか。まだ市役所も一度も行ったことがなく、にぎわいの森も見たこともなし。79歳 男性
- お盆ににぎわいの森へ行ってきたのですが2カ所しか営業しておらず、急に雨が降ってきて雨宿りする場もなく木がたくさん植えてあり、どれが何という木かも分からない、花でも咲くのかも分からない。新庁舎周辺に防災備蓄倉庫を整備するのに予算を使用するのなら各庁舎に備蓄した方が雪でも雨でも遠すぎるのではないかと思います。台風でも危ないのではないのでしょうか。この前の台風10号の時、防災ラジオでは停電情報が分からないのでCTVテレビで、どの地域が停電しているか分かる様にしてほしい。クイズの当選発表は自治会名だけ公表してはいけないのですか？草刈していただきありがとうございます。空き家の所が道まで草がはみ出して危険、どうにかならないのでしょうか？道のデコボコも早く直してほしいです。64歳 男性



2年間 /

【議会広報編集委員会】

このメンバーで「議会だより」の改革に取り組んできました



新山英洋委員 西井真理子副委員長 衣笠民子委員長 岡 英昭委員 篠原史紀委員 故近藤英昭委員

編集 後記

9月定例会は、「昨年度の決算を審議する」ということが大きな役目です。決算審査の様子を通して、いなべ市の姿を知っていただけたらと思います。

2年間にわたりこのメンバーで、手にとってもらい、読みやすく議会のことが

分かる広報紙をめざして、紙面の改革に取り組んできました。

市民の皆さまにもクイズを通して多数参加いただきありがとうございました。これからも議会とともども「よむ ギカイ」も注目していただきますようお願いいたします。

12月定例議会（予定）

- ◆開会日……………11月28日（木）
- 一般質問……………12月 4日（水）
- ……………12月 5日（木）
- 総括質疑……………12月11日（水）
- 予算決算常任委員会……………12月11日（水）
- 総務経済常任委員会・分科会……………12月12日（木）
- 都市教育民生常任委員会・分科会……………12月13日（金）
- 予算決算常任委員会……………12月17日（火）
- ◆閉会日……………12月20日（金）

市議会では本会議、委員会の開催日に傍聴席を開放しています。お気軽にお越しください。（受付場所：いなべ市役所議会棟2階）

クイズの解答

ご応募いただき、ありがとうございました。正解者の中から、厳正に抽選を行った結果、15の方が当選されました。

当選者の発表は図書カードの発送をもってかえさせていただきます。

正解は

- 問1 アッブ事業
- 問2 ③人以上
- 問3 ③12人

応募いただいた「ハガキ」にご記入の個人情報については、目的以外に一切使用いたしません。

いなべ市議会 議会事務局

〒511-0498 三重県いなべ市北勢町阿下喜31番地
TEL 0594-86-7848 FAX 0594-86-7872 <http://www.city.inabe.mie.jp/~gikai/>

平成30年度決算

定例会のようす

視察研修

市民の声

クイズの解答

いなべ市議会だより
No.63
令和元年 9月定例会

平成 28 年度「い〜な！いなべ高校生
アイデアコンテスト」にて発案された
「い〜な ひまわりプロジェクト」。このプ
ロジェクトは地域活性化を目指し、笑顔
の象徴である「ひまわり」をシンボルとし
て、ボランティアや高校生が交流しながら
種を蒔き、花を咲かせようというもので
す。

蒔いた種が無事に開花し、9月下旬に
見頃を迎え、約 3.5 ヘクタールの畑に
40 万本のひまわりが咲きました。ひま
わり畑と線路を走る黄色い北勢線の電車
が好評を博し、市内外から多くの人々が
訪れました。